

# 縄文のムラと人口



縄文のムラ。5000年前、塩野川原田遺跡。

現在、御代田町には1万4000人を超える人々が暮らしている。

では、はるか5000年のむかし、この町でどれだけの人々が住んでいたのだろうか。

発見された縄文のムラ跡から推定すると、せいぜい100人に満たない人々しか住んでいなかったものと考えられる。5000年の時をへて、御代田の人口は100倍以上に膨れあがったのである。

5000年前の日本列島の人口は、コンピュータシミュレーションによって26万人と算出されている。しかし今や日本には1億人以上の人々がひしめきあっているのである。

縄文時代の住居は竪穴式住居といって地面を掘りくぼめたもの。その広さ6畳ほど。もちろん家の中には電気も水道もない。また、お風呂やトイレもない。縄文人はムラはずれのゴミ捨て場でこそっと用を足していたようだ。驚くことなかれ、縄文人はお風呂に入る風習もなかったようだ。



縄文の住居。  
5000年前、塩野川原田遺跡。

## 企画展 日本人の起源をさぐる

■好評開催中！9月10日(日)まで ■浅間縄文ミュージアム 常設・企画展示室

御代田町の人口(8月1日現在) ●人口14,161人(先月比+29) 男7,104人女7,057人  
●世帯数5,440世帯(先月比+13) ●外国人登録者数806人  
みよた広報やまゆり ●発行/御代田町〒389-0292 長野県北佐久郡御代田町大字御代田 2464-2 ☎0267-32-3111